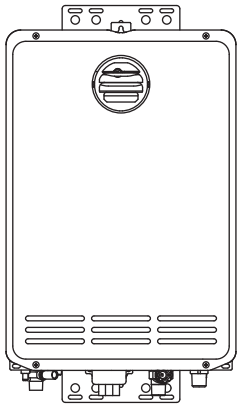
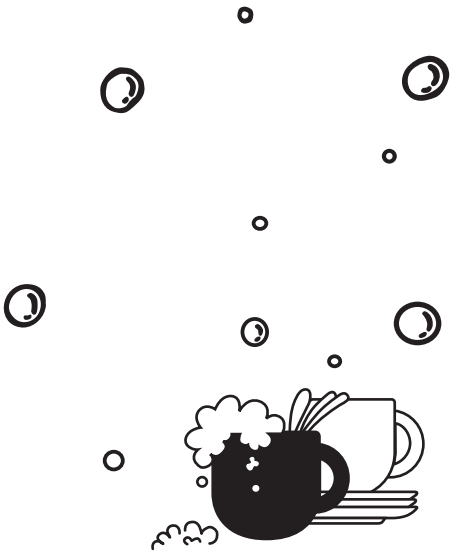
タカラスタンダード
ガス瞬間給湯器



TW-EM164E
TW-EM204E



取扱説明書 保証書付

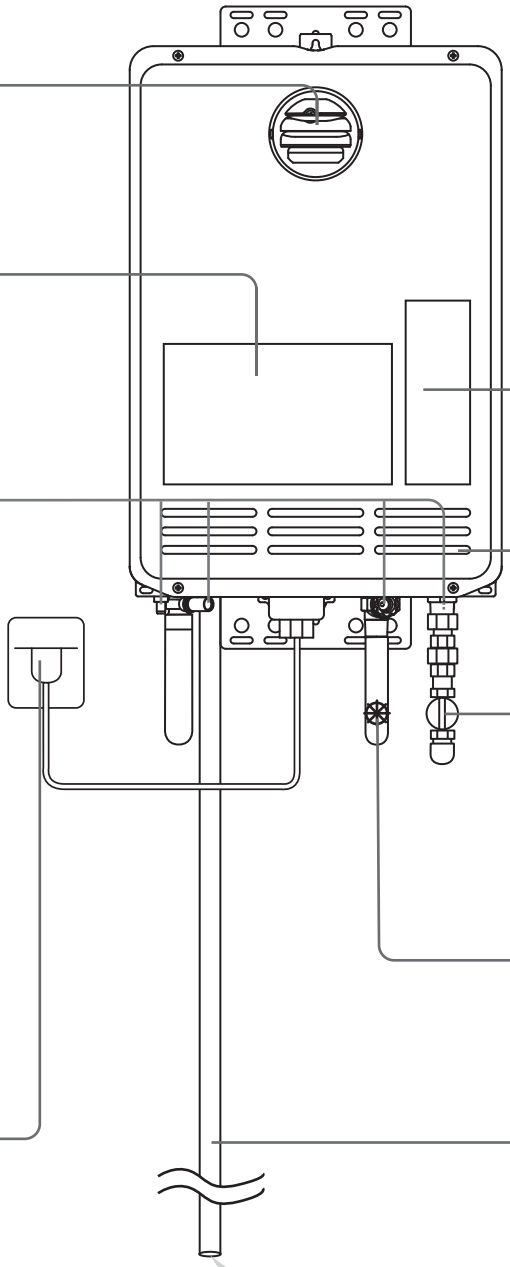
このたびは、ガス瞬間給湯器をお買い上げいただきありがとうございます。

●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。
また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
●この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。
●「取扱説明書」を紛失された場合は、当社フリーダイヤルまでお問い合せください。

もくじ

はじめに	各部のなまえ	1
	各部のなまえ（別売コントローラ）	2
	必ずお守りください	3
	準備と確認	9
使いかた	操作確認音の消しかた、鳴らしかた	10
	【コントローラなしの場合】	
	お湯の出しかた	10
	【コントローラありの場合】	
	お湯の出しかた	11
	湯はりコールの使いかた	13
上手に使って長持ちさせるには	点検とお手入れ	15
	故障かな？と思ったら	17
	凍結を防ぐには	20
アフターサービス 仕様	仕　様	23
	保管とアフターサービス	26
	保証書	裏

各部のなまえ



排気口

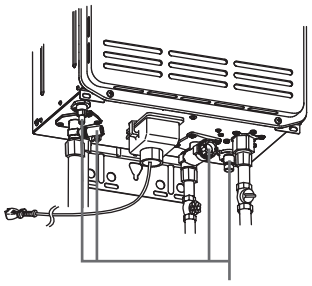
燃焼排ガスが出ます。

本体表示

使用上の注意について表示しています。

水抜き栓

凍結予防のため機器の水を抜くときにはずします。
（21ページ参照）



水抜き栓

電源プラグ

電気の供給を行います。

器具名

銘　板

型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者・設計上の標準使用期間・点検期間・問合せ連絡先等を表示しています。

給気口

燃焼用の空気を吸い込みます。

ガス栓

ガスの開閉を行います。

給水元栓

水道水の開閉を行います。

ドレン配管

※この先から結露水が出ます。
→ドレン配管から水が排出されますが、水漏れではありません。

各部のなまえ（別売コントローラ）

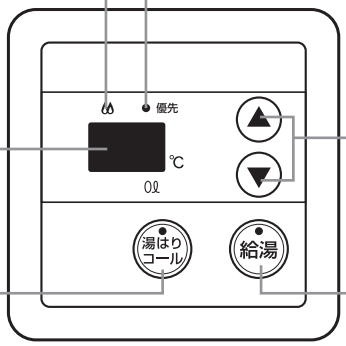
●コントローラ表面に保護シートが貼ってある場合は、はがしてご使用ください。

メインコントローラ … 台所等に取り付けるコントローラです。

燃焼ランプ
給湯燃焼時に点灯します。

表示部（下図参照）

湯はりコールスイッチ・湯はりコールランプ
湯はりコールセット時に押して「入」にします。
スイッチを「入」にすると湯はりコールランプが点灯します。設定後は点滅します。



＊イラストはTMC-117コントローラです。

優先ランプ
優先ランプが点灯している側のコントローラで湯温調節ができます。

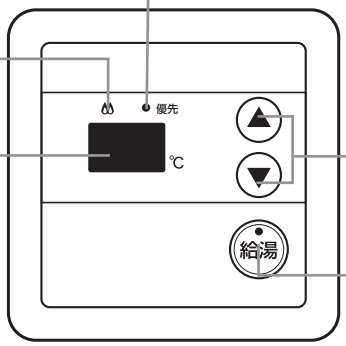
湯温／湯量調節スイッチ
給湯温度の調節と湯はりコール設定湯量の調節をします。

給湯スイッチ・給湯ランプ
給湯操作をするときは押して「入」にします。スイッチを「入」にすると給湯ランプが点灯します。

フロコントローラ … 浴室内に取り付けるコントローラです。

燃焼ランプ
給湯燃焼時に点灯します。

表示部（下図参照）



＊イラストはTSC-117コントローラです。

優先ランプ
優先ランプが点灯している側のコントローラで給湯温度調節ができます。

湯温調節スイッチ
給湯温度の調節をします。

給湯スイッチ・給湯ランプ
給湯操作をするときは押して「入」にします。スイッチを「入」にすると給湯ランプが点灯します。

コントローラ表示部

給湯設定温度表示
給湯温度のめやすを表示します。

湯はりコール設定湯量表示（メインコントローラのみ）
設定湯量のめやすを表示します。

エラーコード
機器が正常に作動しないときにエラーコードを表示します。

湯はりコール湯量表示（メインコントローラのみ）
湯量表示中に点灯します。

※操作確認音は、消したり、鳴らしたりすることができます。
詳しくは「操作確認音の消しかた、鳴らしかた」（10ページ）をご覧ください。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

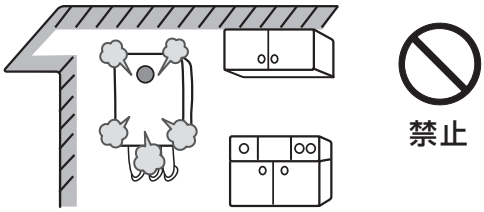
絵表示について次のような意味があります。

⚠危険

■屋外式機器

この機器は屋外式のため絶対に屋内に設置しない

→不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒の原因になります。



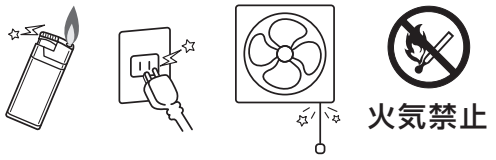
■ガス漏れ時使用厳禁

ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺で電話を使用しない

→炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。

②お買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）に連絡する。



⚠警告

■機器の設置（および付帯工事）

機器の設置・移動および付帯工事は、必ずお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する

必ず行う

■ガス接続（ガス事故防止）

この機器はネジ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店またはガス事業者にご依頼ください。

必ず行う

⚠警告

■機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)の適合を確認する

→表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガスの種類(電源の種類)が一致しているかどうか確認してください。

■電源はＡＣ100Ｖを使用する

＊わからない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）まで連絡する。

（例）

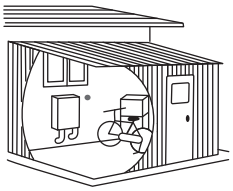
型式名
都市ガス用・・・
12A　13A
○○○　○○○
定格電圧　AC100V

型式名
LPガス用・・・
○○○
定格電圧　AC100V

必ず行う

■設置後、機器や排気口を波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない

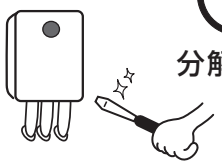
→不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止

■絶対に改造・分解は行わない

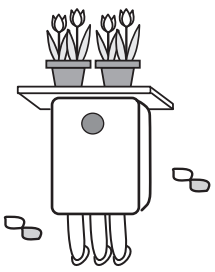
→改造・分解は一酸化炭素中毒やガス漏れなどの思わぬ事故や故障、火災の原因になります。



分解禁止

■機器本体に無理な力を加えない。機器本体やガスの接続口などに乗らない

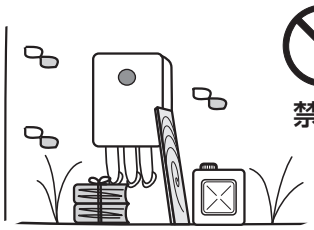
→けがや機器の変形によるガス漏れや不完全燃焼、故障のおそれがあります。



禁止

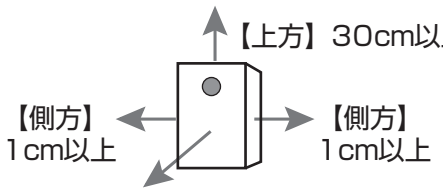
■機器および排気口の周囲には紙や木材など燃えやすいものを置かない

→火災の原因になります。



禁止

可燃物との離隔距離



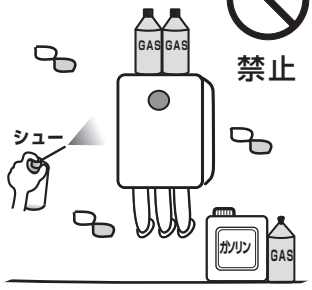
必ず行う

■機器の周囲や上にスプレー缶、カセットこんろ用ボンベなどを置かない

→熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

■機器の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを置いたり使用したりしない

→引火して火災、やけどのおそれがあります。



禁止

■火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない

→火災の原因になります。

禁止

■外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など養生シートで機器本体（排気口）を覆う場合は機器を使用しない

→不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因となります。

禁止

必ずお守りください

⚠警告

■シャワー(上がり湯)などお湯を使う場合は、最初に熱いお湯が出ることがあるため、手のひらで湯温が安定したことを確かめてから使用する

→やけどのおそれがあります。

必ず行う

■やけど防止のために出始めのお湯は体にかけない

→お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、トイレの水を流すなど大量の水を使用し給水圧が下がったとき、あるいは、万一機器の故障の際には一瞬熱いお湯が出ることがあります。

禁止

■入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴する。

→やけどのおそれがあります。

必ず行う

■給湯使用時は出湯管(蛇口)が熱くなるのでやけどに注意する

禁止

■湯量を少なくするときはゆっくり、しぼりすぎないようにする

→急に湯量を少なくしたり、しぼりすぎると熱いお湯が出ることがあります。また、消火することもあります。

必ず行う

■熱いお湯を使用後は湯温を「低温」に戻す
熱いお湯を使用直後にぬるい温度に下げた場合、しばらく流してから使用する

→配管内の熱いお湯が出てしまうまですぐにぬるいお湯にはなりませんのでやけどのおそれがあります。

必ず行う

■湯温を低めに設定した場合の注意

→水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、湯温を確認してからお使いください。

高温注意

■子供を浴室または、機器の周囲や直下で遊ばせない
子供だけで入浴させたり、お湯を使わせたりしない
浴そうで水に潜ったりしない

→思わぬ事故につながることがあります。

＊特に小さなお子さまのいる家庭では注意が必要です。

禁止

■異常時の処置

①点火しない場合または使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる。

②「故障かな？と思ったら」(17～19ページ)に従い処置する。

③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまで連絡する。

地震、火災などの緊急な場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓および給水元栓を閉じる。

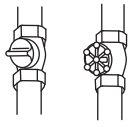
＊再びお使いになる前に、必ずお買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまで点検依頼してください。

必ず行う

給湯栓を全て閉める

電源プラグを抜く

ガス栓・給水元栓を閉じる



⚠警告

■この機器をソーラーシステムに接続しない

→ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどするおそれがあります。

禁止

■シャワー、給湯使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しない

→突然熱湯が出てやけどしたり、冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。

禁止

■浴そうのふたの上に乗ったり手をついたりしない

→ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故のおそれがあります。

禁止

■電源プラグは根元まで完全に差し込む

→差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

必ず行う

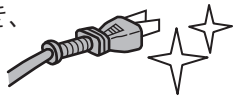
■傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使わない

→感電や火災の原因になります。

禁止

■電源プラグのほこりなどは定期的にふきとる

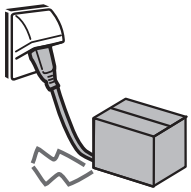
→電源プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布などでふいてください。



必ず行う

■電源コードを加工したり無理な力を加えない。また電源コードへの物のせ、束ね使用をしない。電源コードを切断して延長しない。電源コードがコンセントに届く範囲にする

→感電、ショートや発火による火災のおそれがあります。



禁止

■ぬれた手で電源プラグを触らない。すでに雨が降り出している場合は、電源プラグを抜かない

→感電のおそれがあります。

濡れ手禁止

■電源コードを引っぱって電源プラグを引き抜かない

→電源コードを引っぱると破損して感電や火災の原因になります。

禁止

⚠注意

■給湯・シャワー以外の用途には使用しない

→思わぬ事故の原因になることがあります。

禁止

■この機器はアースが必要なのでアースされていることを確認する

→故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アースの取り付けはお買い上げの販売店にご相談ください。

アースする

■ドレン排出口、オーバーフロー配管から排出される水を飲料用、調理用、飼育用などには使用しない

禁止

■排気口に指や棒を入れない

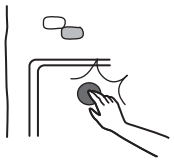
→故障やけがの原因となります。

禁止

⚠注意

■使用中や使用直後は機器本体・排気口とその周辺は高温になっているので、手を触れない

→やけどのおそれがあります。



禁止

■温泉水や井戸水・地下水を使わない上水道を使用する

→水質によっては機器の破損および水漏れの原因となります。

＊温泉水や井戸水・地下水をお使いになって生じた故障についての修理・補償費用はお客様の負担となります。

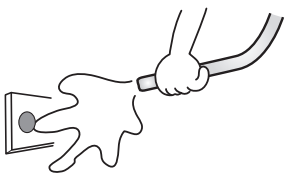
必ず行う

おねがい

■コントローラの注意

→コントローラは子供がいたずらしないように注意してください。

→フロコントローラは防水タイプですが故意に水をかけないでください。メインコントローラは防水タイプではありません。炊飯器、電気ポットなどの蒸気にも注意してください。故障の原因になります。



禁止

→コントローラは分解したり乱暴に扱わないでください。

分解禁止

■コントローラの設置場所について

→サウナなど室温が55℃を超える場所に取り付けないでください。故障の原因になります。（5～55℃の範囲内で使用してください。）

■コントローラのスピーカーに耳を近づけて使用しない

→大きな音が出ることがあります。聴覚障害を引き起こすおそれがあります。

■本体の上に金属製の物を置かない

本体がさび、穴あきなどの原因になります。

禁止

■家庭用製品

この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

■補修用性能部品および補助具は、当社の純正部品以外は使わない

当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

禁止

■点火・消火の確認

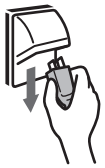
使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

＊コントローラがある場合、コントローラの燃焼ランプで確認してください。（詳しくは11ページをご覧ください。）

必ず行う

■電源について

凍結予防運転のために電気を使用しています。緊急の場合以外は電源プラグを抜かないでください。



禁止

■飲用、調理用にお使いのときは

機器や配管内に長時間たまっていた水は飲用や調理には用いないでください。朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水、調理用水としてお使いください。

おねがい

■ガス事故防止

使用後はコントローラを「切」にして、ランプの消灯を確認してください。長期間使用しない場合は、ガス栓も必ず閉めてください。

■水をお使いのときは

機器本体やコントローラを「切」にして給湯栓側で水を使用することは故障の原因になりますので避けてください。水をお使いのときは必ず給水栓側を開いてください。

■停電・断水のときは

・停電・断水時は運転を停止しますので、給湯栓を閉めておいてください。給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。（通電・通水後は改めて操作してください。）
・冬期など気温の低いときに停電・断水した場合は「機器内の水を抜く方法」で凍結による破損防止の処置を行ってください。（21ページ）
・断水から復帰した後、使い始めのお湯は飲用水・調理水などに用いないでください。断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまることがあります。
・断水復帰後は、蛇口から十分な水を流してから使用してください。

＊断水後は配管内に空気が入っているためすぐに運転すると空だきのおそれがあります。いったんガス栓を閉めて、コントローラを「切」にした状態（コントローラがない場合は電源プラグを抜いた状態）で給湯栓を開け、水が出るのを確認してから使用してください。

再通電後のコントローラ表示

●温度表示は前回使用時の設定が表示されます。
●湯量表示は下記のように表示されます。

- メインコントローラの場合
  →「180ℓ」が表示されます。
- フロコントローラの場合
  →湯量表示はありません。

■積雪時は給気口・排気口の点検、除雪を行う

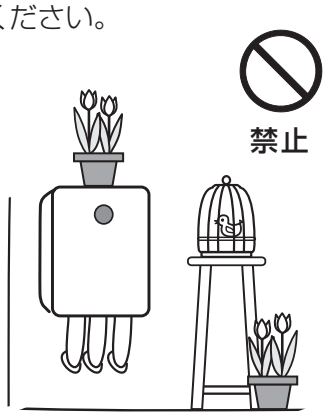
積雪や、屋根から落ちた雪により給気口・排気口がふさがれないように注意してください。故障の原因になります。

■雷時の注意

雷が発生し始めたらすみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。（電源コードが埋め込まれている場合は、元のブレーカーで落としてください。）
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷が遠ざかってから、電源プラグが濡れていないことを確認して電源プラグを差し込んでください。

■排気口の周囲

排気口からの燃焼排ガスによって加熱されて困るもの（危険物、植物、ペットなど）を排気口の周囲に置かないでください。
増改築などによって、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。



■増改築時の注意

塀などを増設する場合は、空気の流れが停滞しないように考慮してください。また、機器の点検・修理のための空間を確保してください。機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良の原因になります。また、塀などと機器との間に十分な空間がないと、点検・修理に支障をきたすおそれがあります。（機器の点検・修理のための空間については、お買い上げの販売店または当社フリーダイヤルまでご連絡ください。）

準備と確認

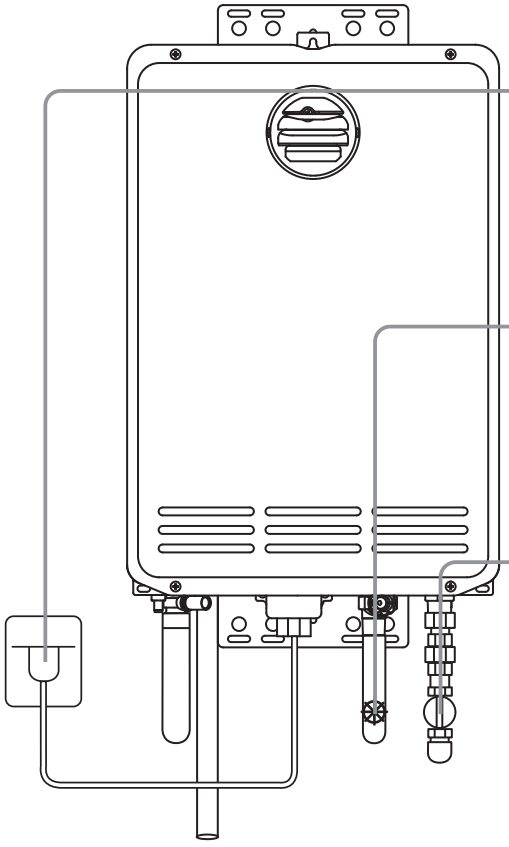
設置状態の確認

①機器は屋外に設置してある
②機器は堅固に設置してある
③作業に危険を伴う（ハシゴ掛け、ヤグラ組み立てなどを必要とする）場所に取り付けてない
④機器の周囲に可燃物がない
- ●洗濯物などの燃えやすいものがない
- ●排気口からの燃焼排ガスにより加熱されて困るもの（危険物、植物、ペット、プラスチック製のといなど）がない

⑤機器の排気口の近辺に窓（隣家の窓も含む）がない
⑥近隣の家に迷惑にならない場所に設置してある
⑦機器にはガス栓・給水元栓が取り付けてある
⑧凍結予防のため、給水・給湯配管に保温材を巻く措置がしてある
⑨機器を波板などで囲んでいない

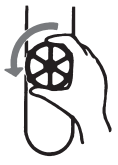
＊以上の設置に関し、ご不明な場合は施工業者までお問い合わせください。

長年のご使用で危険な使用環境にならないように上記の点に配慮していただき、安全にご使用ください。



電源プラグをコンセントに差し込んでください

給水元栓を全開にしてください
つまみは左に止まるまで回し、必ず全開で使用してください。

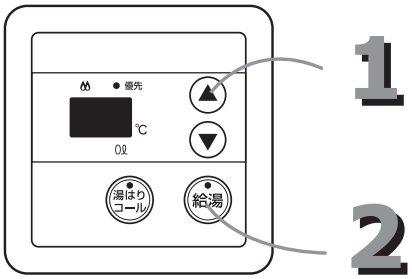


ガス栓を全開にしてください
必ず全開で使用してください。

＊電源（AC100V）を入れた直後（約20～30秒間）は安全のための初期動作確認を行っていますので運転しません。しばらく待ってから操作してください。

操作確認音の消しかた、鳴らしかた

スイッチを押したときの‘ピッ’という音は、消したり、鳴らしたりすることができます。



＊イラストはTMC-117コントローラです。

はじめに

給湯スイッチを「切」（ランプ消灯）にしておく

1 ▲ **を押しながら、** **2** 給湯 **を押す**

操作するたびに、鳴る・鳴らないの設定が切り替わります。操作したコントローラにのみ働きます。

＊お買い上げ時や再通電時は鳴るように設定されています。

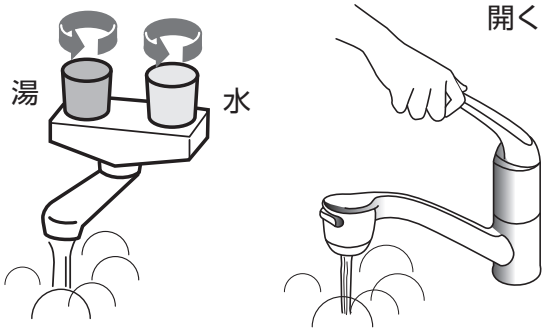
お湯の出しかた（コントローラなしの場合）

給湯栓を開けると約60℃のお湯が出ますので水を混ぜながらお使いください。

①混合水栓を水側・お湯側の順で開ける

②混合水栓でお好みの湯温に調節する

③混合水栓をお湯側・水側の順で閉める



＊お湯の温度は、通常60℃に設定されていますが、42℃、50℃または、70℃に変更することもできます。
ご希望があれば、お買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまでお問い合わせください。

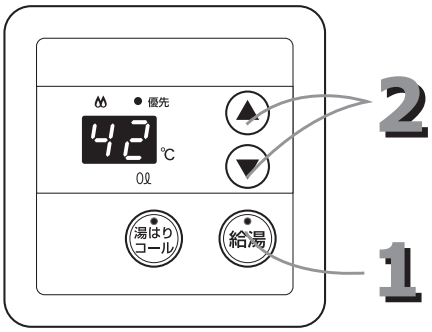
⚠ 警告

開けるときは水側（たっぷり）・お湯側（少しずつ）、
閉めるときはお湯側・水側の順に行う

→お湯側だけを開けると高温のお湯が出るので、やけどのおそれがあります。

必ず行う

お湯の出しかた（コントローラありの場合）



＊イラストはTMC-117コントローラです。

⚠ 警告

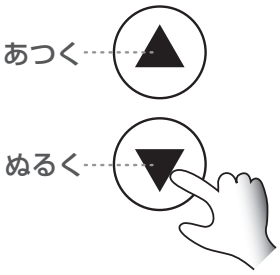
おふろでお湯を使うときは、必ずフロコントローラの給湯スイッチを押して優先にする
→優先にしないとメインコントローラで勝手に温度を変えることができるためやけどのおそれがあります。

必ず行う

1 「給湯」スイッチを押す

前回設定の温度

2 温度を調節する



●38℃～45℃までは押し続けると連続して変わります。それ以降は1回押すごとに46、47、48、50、60℃と変わります。

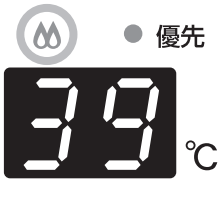
●設定を記憶します。

優先表示確認

調節後の温度

3 給湯栓を開ける

燃焼ランプ点灯



フロコントローラが優先のおはなし

おふろではいつも快適な入浴が楽しめるように、フロコントローラ優先中は
メインコントローラでは勝手に温度が変えられないしくみになっています。

4 給湯栓を閉める

閉める

燃焼ランプ消灯

温度のめやす

38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50	60
ややぬるめ			適温			ややあつめ				あつい		

★表示の温度と実際の温度は設置条件（季節・配管長さ等）により必ずしも一致しません。表示の温度はめやすとしてください。

＊ご希望により70℃設定を追加することができます。
お買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまでお問い合わせください。

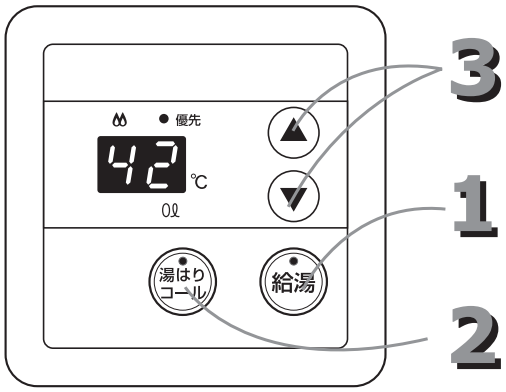
知っておいてね

- 初めてお使いになる時などはガス配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。（給湯栓の開閉操作を2～3回くり返してください。）
- 給湯栓を絞りすぎると消火します。
（給湯栓をもっと開けてご使用ください。）
- メインコントローラを2台設置の場合、いずれかのメインコントローラを操作すると、他のメインコントローラも連動します。
- 2箇所以上で同時にお湯を使用したり、断続的に使用すると湯量、温度が不安定になることがあります。
- コントローラを2台以上設置している場合、「給湯」スイッチを3秒以上押し続けるとすべてのコントローラを「切」にすることができます。
- コントローラの設定温度を低くしている場合や、夏期など水温の高い場合、コントローラの設定温度よりも高いお湯が出ることがあります。
- お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯の量が少なくなったり、給湯配管によってはほとんどお湯が出ないことがあります。

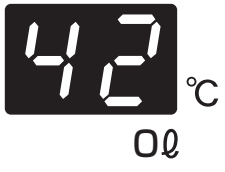
湯はりコールの使いかた（メインコントローラのみ）

メインコントローラには、便利な「湯はりコール」が付いています。
湯はりコールとは、給湯栓から出たお湯の量が設定した湯量に達したときに、“ピピピッ”とブザーでお知らせする機能です。

【メインコントローラ】

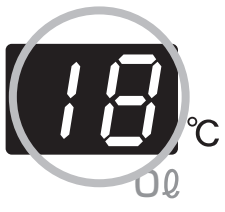


1 「給湯」スイッチを押す



2 「湯はりコール」スイッチを押す

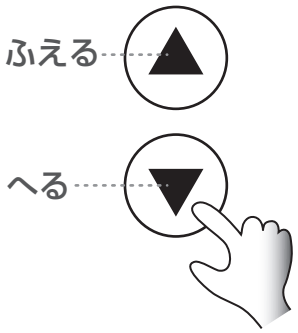
●ピッと鳴り、初期設定の180ℓまたは前回使用時に設定の湯量が表示されます。
●湯量の表示は10ℓ単位です。



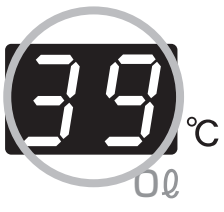
前回設定の湯量

15秒以内

3 湯量を調節する



●10～500ℓまで10ℓづつ調節できます。押し続けると連続的に変わります。
●初期設定の180ℓは、1.5人用の一般的な浴槽を基準にしています。



調節後の湯量

湯はりコールを途中で取り消すとき

表示部：温度表示

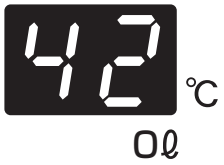
2回連続で押す

残り湯量を知りたいとき

4 15秒後、湯はりコールランプが点滅し、温度表示に戻る

【湯はりコールセット完了】

- すぐに湯はりコールをセットさせたい場合は、もう1度「湯はりコール」スイッチを押してください。
- 給湯は給湯栓の開閉で行ってください。



5 設定湯量に達すると、15秒間“ピピピッ”でお知らせ

- “ピピピッ”を止めるには「湯はりコール」スイッチを押してください。
- 「0ℓ」と表示されます。ブザー終了後は湯はりコールランプが消灯し、温度表示に戻ります。

知っておいてね

- 「湯はりコール」スイッチを押してから次のスイッチを押すまでが15秒以内に行われないときは、自動的に初期設定の湯量または前回使用時に設定の湯量でセットされます。
- 湯はりコールはセット後1時間以内に給湯栓を開かないと自動的に取り消されます。
- 設定湯量はすべての給湯栓から使用されたお湯の量になります。湯はりコールをセット後、お湯はり以外に他の給湯栓でお湯を使用すると湯はり量が設定湯量より少なくなります。
- 混合水栓をご使用の場合、混合水栓で混ぜた水の量だけ湯はり量が設定湯量よりも多くなります。

点検とお手入れ

おねがい

●日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
●故障または破損したと思われる場合は使用しないで、お買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまで点検・修理を依頼してください。
●お手入れの際には必ず電源プラグを抜き、ガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
●お手入れの際、指先には十分注意してください。

点検のポイント

＊点検は常時行ってください。

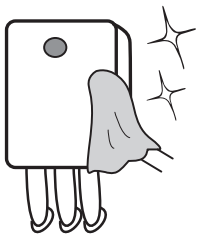
1.給気口・排気口を異物やほこりでふさいでいませんか?
2.機器のまわりに燃えやすいものはありませんか?
3.運転中に異常音は聞こえませんか？
4.機器配管からガス漏れ・水漏れはありませんか?
5.外観に変色等の異常はありませんか?
6.電源プラグにほこりがたまっていませんか？
7.ドレン配管の先がゴミなどで詰まっていませんか？

不完全燃焼や異常過熱の原因になります。排気口・給気口をふさがないでください。排気口・給気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口・給気口がふさがれた場合、機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気口・給気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気口・給気口をふさぐおそれのある場合は最寄りの施工業者などに連絡し、設置場所を変更する必要があります。

お手入れのしかた（月に１回程度）

本体・コントローラ

水気をかたくしぼったやわらかい布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いた布で洗剤分と水気を十分ふき取る



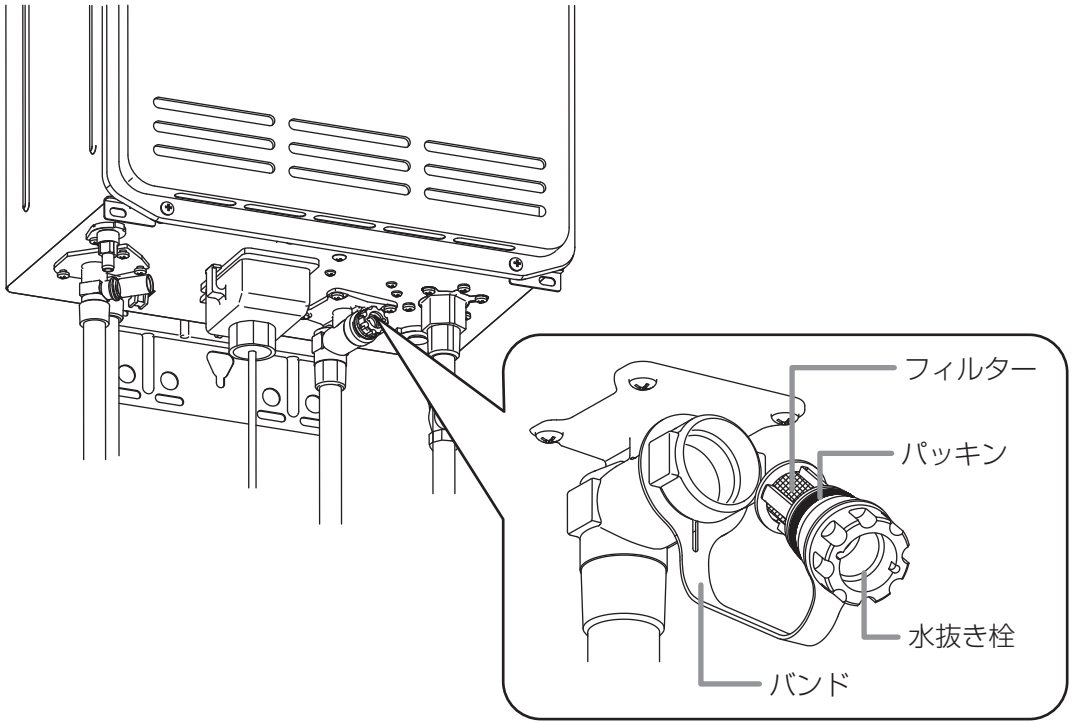
おねがい

●浴槽、洗面台もこまめに掃除してください。湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと石鹸などに含まれる脂肪酸とが反応し、青く変色することがあります。
●機器本体をたわしやブラシなどでこすらないでください。
●シンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。機器損傷の原因になります。印刷・塗装面にはみがき粉、たわしなど固いものは使わないでください。表面を傷付けます。
●機器外装のお手入れの際、銘板をはがさないでください。
●フロコントローラは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
メインコントローラは防水タイプではありません。
●コントローラは子供がいたずらしないように注意してください。
●点検・お手入れ後は、給湯栓を開け機器が正常に作動するかどうか確認してください。

水抜き栓フィルター

●お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
●水抜き栓をはずすときに、水が飛び出ることがありますので、ゆっくりはずしてください。

1.給水元栓を閉める
2.すべての給湯栓（シャワーを含む）を開ける
3.水抜き栓をはずし、フィルター部分のゴミを取り除く
4.元どおりに水抜き栓を取り付ける
5.すべての給湯栓（シャワーを含む）を閉める
6.給水元栓を開けて水抜き栓周辺に水漏れがないことを確認する



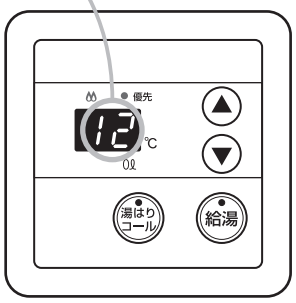
定期点検のおすすめ

より長く安全にお使いいただくために、2年に1回程度（使用頻度の高い場合は1年に2回程度）の定期点検を受けられることをおすすめします。
お買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまでご相談のうえお申しつけください。（有料）

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、コントローラにエラーコードが表示されていないか確認します。
給湯栓は開いたままにしておきます。
（コントローラを使用していない場合は、18, 19ページをご参照ください。）

（例）エラーコード



エラーコードが表示されたら

①給湯栓を閉め、全てのコントローラを「切」にする。
5分程待ってから、再び、コントローラの「給湯」スイッチを「入」にし、給湯栓を開ける。

②それでもなおエラーコードが表示される場合、
●下記以外のエラーコードが表示される場合は③へ
●下記のエラーコードが表示される場合は、給湯栓を閉め、コントローラの「給湯」スイッチを「切」にする。下記の処置をした後、再使用する。それでもエラーコードが表示される場合は③へ

③給湯栓を閉め、コントローラを「切」にし、ガス栓、給水元栓を閉めた後、お買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまで点検・修理を依頼する。
このとき作業を円滑に行うため、エラーコードの表示をお知らせください。

エラーコード	原　　因	処　　置
11	ガス栓の開きが不十分	ガス栓を全開にする
12	LPガスがなくなりかけている（LPガス使用の場合）	ボンベを交換する
15	給湯栓を絞りすぎている	給湯栓をたくさん開けて湯量を増やす
16	水抜き後の再使用時の順番が違っている	22ページ「水抜き後の使いかた」参照
92（燃焼開始時に表示します。）↓ **93**	長年の使用により中和剤が減少している	中和器の交換が必要ですので、お買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまでご連絡ください。
	中和器の交換が必要ですので、お買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまでご連絡ください。	
10 燃焼開始時に「ピッ・ピッ・ピッ」とブザーが鳴ります。↓ **99**	機器の給気口をふさいでいる	機器の給気口をふさいでいるものを取り除く
	修理が必要ですのでお買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまでご連絡ください。	

下記のような現象が生じた場合は、症状に応じた処置を行ってください。
また処置をしてもなお異常があるときやご不明な点は、お買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまでご連絡ください。

現　象	原因と処置
給湯栓を開けてもお湯が出ない	●給水元栓が十分開いていない（9ページ） ●給湯栓をしぼりすぎている（流水量が少なくなると消火します。） ●凍結している（22ページ） ●給湯スイッチが「入」になっていない ●断水・停電している。または電源プラグが抜けている（8ページ） ●使い始めは給湯管内の冷水を追い出すまでしばらくお湯が出てくるまでに時間がかかることがあります。 ●機器から給湯栓までの距離が長いと、お湯が出てくるまでに時間がかかることがあります。 ●ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断している ●水抜き栓フィルターにゴミが詰まっている（16ページ）
途中で水になる	●ガス栓が全開になっていない（9ページ） ●給水元栓が十分開いていない（9ページ） ●停電している、または電源プラグが抜けている（8ページ） ●給湯栓をしぼりすぎている（流水量が少なくなると消火します。）
高温のお湯が出ない	●ガス栓が全開になっていない（9ページ） ●湯温調節が適切でない（11ページ） ●2ケ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると、湯量・湯温が不安定になることがあります。（12ページ） ●冬期など水温が低い場合に、高温のお湯を大量に使用しようとすると設定温度のお湯がでないことがあります。 （給湯栓をしぼり湯量を少なくすれば、湯温は安定します。）
低温のお湯が出ない	●湯温調節が適切でない（11ページ） ●給水元栓が十分開いていない（9ページ） ●2ケ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると、湯量・湯温が不安定になることがあります。（12ページ） ●少量のお湯を使用しようとすると、湯温が高くなります。 （給湯栓をもっと開けて湯量を多くすれば、湯温は安定します。） ●夏期など水温の高い場合に、低温のお湯を使用しようとすると湯温が設定温度より高くなります。（12ページ）

故障かな？と思ったら

現　象	原因と処置
お湯が白く濁って見える	●水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることによって細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡とにた現象であり、汚濁とは違い無害です。
排気口から白い煙のようなものが出る	●外気温が低いときに、排気ガス中の水蒸気が白く見えますが故障ではありません。
温度設定ができない	●操作しているコントローラが優先になっていない
水抜き栓兼安全弁からときどき水滴が落ちる	●機器内に高い圧力が生じた場合、安全弁の働きにより、水抜き栓からときどき水が落ちることがありますが水漏れではありません。 （機器下面がぬれて困るようなときは、ビニールホース等で支障のないところへ排水してください。なお、ホースは中に水が溜まらないように取り付けてください。）
給湯停止後もファンが回転している	●再使用時にお湯を早く出すためです。しばらくすると停止します。 ●1日1回程度の割合で、通常よりも少し大きな音がすることがありますが故障ではありません。
ドレン排出口から水滴が出る	●燃焼中に発生する結露水ですので異常ではありません。 （長年お使いになった場合は、結露水は赤っぽくなることもあります。）

凍結を防ぐには

冬期には給水、給湯配管が凍結し、破損事故がおこることがあります。
このような事故を防止するため、次のような処置をおとりください。
＊暖かい地域でも機器や配管内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、下記の必要な処置をしてください。

① 凍結予防ヒータによる方法

この機器には、凍結予防ヒータが組み込まれていますので、
機器本体に電気が供給されている限り、無風状態でマイナス20℃
程度まで機器内の凍結を予防できます。
外気温が下がると凍結予防ヒータが自動的に機器内を保温します。

凍結予防のため、電源プラグは抜かないでください。

おねがい

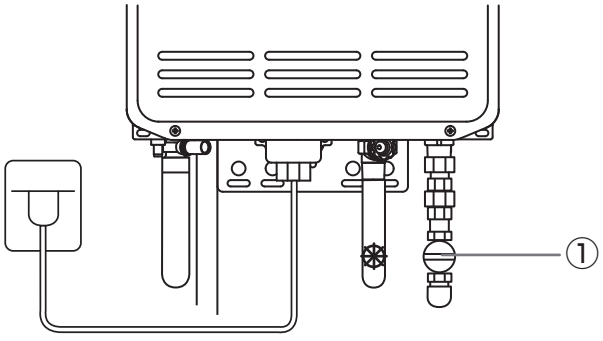
- 機器内は保温しますが、配管・バルブ類の凍結予防はできませんので配管の水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。
- 凍結予防ヒータが有効なのは無風状態で外気温マイナス20℃程度までですので、**気象状況により「②通水による方法」「③機器内の水を抜く方法」で凍結による破損防止の処置を行ってください。**
- 停電時は凍結予防ヒータが働きませんので、「③機器内の水を抜く方法」で凍結による破損防止の処置を行ってください。

② 通水による方法

機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結防止もできます。

コントローラがある場合は、コントローラを「切」にしておいてください。

①ガス栓を閉めます。
②給湯栓を少し開けておきます。
　流量が不安定になるため、30分後にもう一度流量を確認してください。



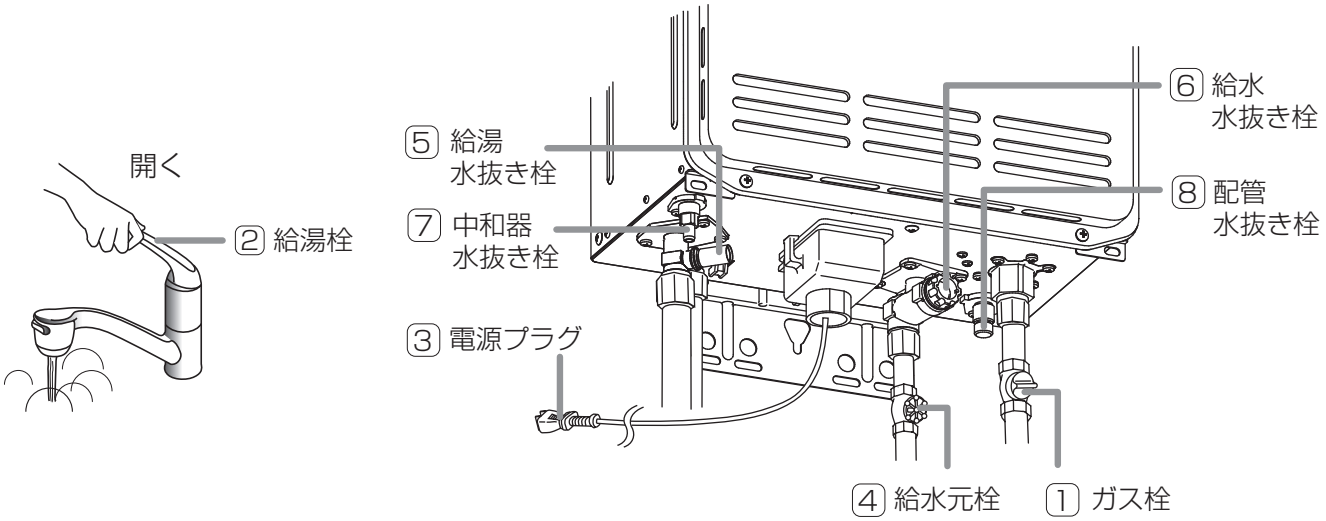
おねがい

寒い日は多めに水を流してください。

凍結を防ぐには

③ 機器内の水を抜く方法

コントローラがない場合	コントローラがある場合
① ガス栓 [1] を閉めます。 ② いづれかの給湯栓 [2] を全開にします。 ③ ②の操作より約30秒以上経過してから 電源プラグ [3] を抜きます。	① ガス栓 [1] を閉めます。 ② コントローラを「切」にします。 ③ 電源プラグ [3] を抜きます。
④ 給水元栓 [4] を閉めます。 （不凍栓使用時は不凍栓を閉め、給水元栓を全開にします。） ⑤ 全ての給湯栓 [2] を開けます。 ⑥ 給湯水抜き栓 [5] をはずします。 給水水抜き栓 [6] をはずします。 中和器水抜き栓 [7] をはずします。 配管水抜き栓 [8] をはずします。 ※[5]～[8]は順不同 再使用するまでこのままにしておきます。	



⚠警告

ぬれた手で電源プラグを触らない。
すでに雨が降り出している場合は、
電源プラグを抜かない
→感電のおそれがあります。

おねがい

配管・バルブ類の凍結予防はできませんので、配管は水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。

※手順通り行わないと、器具が凍結し、破損事故の原因になります。

水抜き後の使いかた

①電源プラグ ③ をコンセントに差し込みます。

② 給湯水抜き栓 ⑤ ・給水水抜き栓 ⑥ ・中和器水抜き栓 ⑦ ・ 配管水抜き栓 ⑧ を閉めます。

③ 給水元栓 ④（または不凍栓）を開け、給湯栓 ② から水が出るのを確かめてから、
給湯栓 ② を閉めます。（このとき配管から水漏れがないことを確認）

※水が出ない場合は、下記の操作を繰り返してください。
給湯栓 ② を閉め、電源プラグ ③ を差し込んだまま、約30分後に
もう一度給湯栓 ② を開けます。

④ 9ページの「準備と確認」から始めます。

＊再使用時にまず、上記の操作を行わないとエラーになる場合があります。

凍結したときは

●凍結すると、機器の破損・異常を起こし、水漏れや空だきなどのおそれがあります。
●凍結したときは、とけるのを待ち、水漏れや作動に異常がないかを確認してから、お使いください。
●凍結防止せずに凍結して、機器を損傷されたり、凍結による水漏れにより床・壁等を汚した場合の修理・補修費用はお客様の負担となります。

仕　様

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

品　名		TW-EM164E・TW-EM204E
型式名		別表「型式名」欄参照
接続	給水・給湯	R1/2（15A）
	ガス	R1/2（15A）
電源	消費電力	別表「消費電力」欄参照
	待機時消費電力	2.6W
	使用電源	AC100V（50Hz/60Hz）
	電源コード長さ	1.5m
	凍結予防ヒータ	73W
種　類		給湯方式：先止め式　　給排気方式：屋外用
設置方式		屋外壁掛式（PS設置可能）
本体(器体)寸法		高さ520×幅350×奥行215mm
質量(本体)		19kg
点火方式		放電点火式
給湯温度制御		比例制御
最低作動水量		2.5L/分
水　圧		使用水圧：80～1000kPa (0.8～10.0kg/cm^2) 最低作動水圧：10kPa (0.1kg/cm^2)
安全装置		立消え安全装置・過熱防止装置・空だき安全装置・残火安全装置・過圧防止安全装置 空だき防止装置・漏電安全装置・凍結予防装置・沸騰防止装置・電流ヒューズ 中和器詰まり検出装置・ファン回転検出装置・停電安全装置

＊最低作動水量は、入水温や設定温度により増加する場合があります。

使用ガス（ガスグループ）		器具名	型式名	ガス消費量 kW	出湯量（最大）ℓ /分			消費電力 (50Hz/60Hz)
					25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
都市ガス用	12A	PH-EM164EWH-S	Q-22-1	28.9	14.9	9.3	6.8	44W
都市ガス用	13A	PH-EM164EWH-S	Q-22-1	31.0	16.0	10.0	7.3	44W
LPガス用		PH-EM164EWH-S	Q-22-1	31.0	16.0	10.0	7.3	44W

使用ガス（ガスグループ）		器具名	型式名	ガス消費量 kW	出湯量（最大）ℓ /分			消費電力 (50Hz/60Hz)
					25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
都市ガス用	12A	PH-EM204EWH-S	Q-21-1	36.2	18.6	11.6	8.5	58W
都市ガス用	13A	PH-EM204EWH-S	Q-21-1	38.8	20.0	12.5	9.1	58W
LPガス用		PH-EM204EWH-S	Q-21-1	38.8	20.0	12.5	9.1	56W

メ　モ

保管とアフターサービス

保管（長期間使用しないとき）

水を抜きます。(「凍結を防ぐには」20ページ参照)

アフターサービスについて

点検･修理を依頼されるとき

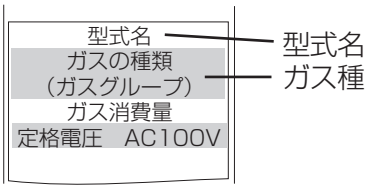
「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、
お買い上げの販売店か下記の『修理受付フリーダイヤル』までご連絡ください。

0120−557−910

◎受付時間／9：00～18：00
（土日祝、夏期・年末年始休業日を除く）

☆アフターサービスをお申しつけのときはお知らせください。

- **ご住所･ご氏名･電話番号**
- **現象(できるだけ詳しく…エラーコード等)**
- **型式名(銘板表示のもの)**
- **ご購入日･ガス種**
- **道順**



＊作業に危険を伴う（ハシゴかけ、ヤグラ組立などを必要とする）場所に取り付けられた場合、アフターサービスに応じかねることもありますのでご了承ください。

補修用性能部品の最低保有期間について

補修用性能部品は製造打ち切り後最低7年間保有しております。
長年のご使用でいたんだ場合にはお買い求めください。

ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、お買い上げの販売店までご連絡ください。
この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

製造年月について

製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。
銘板の読みかたは、
［例］12（製造年）・05（製造月）-123456（製造番号）です。

その他ご不明の点は

お買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまでご連絡ください。

保 証 書

品　　名	TW-EM164E・TW-EM204E

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置･使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書､本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置･使用状態で故障した場合には､お買い上げの販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は､お買い上げの販売店にご依頼のうえ､本書をご提示ください｡なお､離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社フリーダイヤルへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動 (取付工事依頼の必要な機器の場合)､落下等による故障および損傷
   (ハ) 公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、ねずみ・鳥・くも・昆虫類の侵入、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
   (ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車輌、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
   (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (ヘ) 消耗部品の取替えおよび保守等の費用
   (ト) 本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   (This warranty is valid only in Japan.)
7. 本書は再発行致しませんので､紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前　　様	お買い上げ日	年　　月　　日
	ご住所　〒		
	お電話		
販売店	店名	保証期間	お買い上げ日から1年間
	住所		
	電話番号		

タカラスタンダード株式会社

〒536-8536　大阪市城東区鴨野東1丁目2番1号
TEL 06 (6962) 1531

修 理 記 録

年　月　日	修 理 内 容	サービス員 ㊞

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまでお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

41106100000

24. 7. ◎ OG 41 10610